

本時の指導と評価の計画

(1) 題材

粘土制作

(2) 本時のねらい

制作を通して立体で表すことや、対象がもつ色、質感などの特徴を捉え、
伝わる形にする。

学習指導要領中学校美術科

デザインや工芸などに表現する活動では、多くの人が共感できるかどうかを
検討するなど客観的な捉え方を重視することを中心とする。

造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを意識する。

(P108)

(3) 準備・資料等 … 軽量紙粘土、のげべら、のし棒、新聞紙、やすり、
水、作品例

(4) 本時の展開

時間	学習内容	指導上の注意	評価規準
15分	<p>導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形を捉える上での注意点 ・作品例を用いて野菜それぞれの特徴に沿ってつくることを意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品例の野菜を用いて説明する。りんごと柿で形の違いをはっきりさせながら説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土造形に興味をもち理解しようとする。 (関心・意欲・態度)
10分	<p>準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する紙粘土の扱い方や画材の説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙粘土の特性を説明し、画材を用いた表現方法を覚えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの見方、特徴をイメージで捉えることができる。 (発想や構想の能力)
60分	<p>制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持参した野菜や果物を観察しながら粘土で成形する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物をよく観察することを一番に、しっかりと特徴を捉えているか確認を取りながら制作を進めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察し、それを形にすることができる。 (創造的な技能)
15分	<p>片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作を終了し、各自片付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机が汚れて時間がかかるため、余裕を持って片付けをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任を持って清掃、片付けを行うことができる。 (関心・意欲・態度)

